

マイコンキットと電子工作キットの通販ショップ
マイコンキットドットコム
 www.MYCOMKITS.com

**MK-320 距離を表示し、設定距離でリレーオン！超
 音波センサー・表示・リレー付き！距離計キット**

マイコンキットドットコムの MK-320 距離を表示し、測定距離でリレーオン！超音波センサー・表示・リレー付き！距離計キットは、超音波センサーにより測定した距離を3個の7セグメントLEDに表示し、同時に設定した距離に達するとリレーをオンにする距離計キットです。約10cmから5mまで測定することができ、3桁で表示するので、日曜大工に使い、しかも設定した距離でリレーを駆動するので、人が近づくとアラームを鳴らしたり、モーターが動くような装置に利用することもできます。

超音波センサーは、超音波送信モジュールと超音波受信モジュールが1枚の小型基板にあらかじめ実装されている「HC-SR04」を使用しているのので、4箇所の手付けで実装でき、初心者でも簡単に作ることができます(写真)。



特長:

- 7セグメントLED表示器3個による距離表示
- 内蔵されたリレーにより100V機器の制御も可能
- ボリュームで距離を簡単に設定可能
- 検出可能な距離は約10cmから約5m
- デジタル的なヒステリシス機構内蔵

仕様と機能:

電源電圧	DC12V(300mA以上) (回路そのものは8V以上で、またリレーは9Vくらいから動作します。したがってリレーが不要であれば手付けせず電池駆動が可能です)
消費電流	約60mA、約100mA(リレー駆動時)
超音波センサー	HC-SR04
測定距離	約10cmから約5m 約6.8m以上はエラー(Err)を表示
測定/表示分解能	1mm(1m未満)、1cm(1m以上)
測定精度	約3mm、または約1%(大きいほう)
リレー駆動距離の	2cmから500cm(設定単位はcm)
設定範囲	半固定ボリュームで設定
リレー接点	AC125V1A、DC30V1A(抵抗負荷) AC125V0.3A、DC30V0.3A(誘導負荷)

電源コネクタ

- 2種類:
 ・DCジャック型 軸径2.1mm、外径5.5mm 軸(センター)がプラス
 ・ネジ式2端子型



リレー出力

- ネジ式3端子:
 ・COM端子(共通端子・リレー状態に応じてNO端子、またはNC端子と接続)
 ・NO端子:リレー駆動のときCOMと接続
 ・NC端子:リレー非駆動のときCOMと接続



LED表示

ヒステリシス

リレー駆動時にLEDが点灯します
 リレー駆動距離付近でのリレーのバタツキを抑制するために変化後約1秒は再変化せず

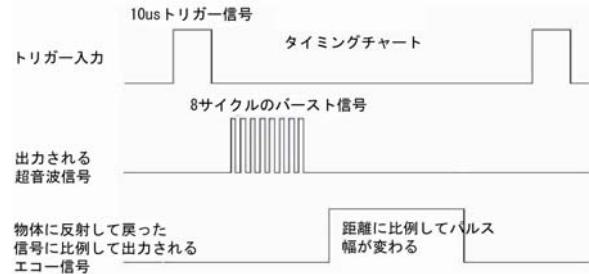
サイズ

81.2×63.4×29.4(高さ)mm

回路の説明:

MK-320 ボード上の PIC マイコン「16F1828」から測定開始信号「TRIG 信号」を超音波センサー「HC-SR04」に 10us 送ると、「HC-SR04」から内部の発振回路により 4kHz に変調された 8

サイクルのバースト信号が出力されます。同時にその超音波が対象物により反射して戻ってきた時間に相当する時間幅を持つパルスが「HC-SR04」のエコー(ECHO)端子から出力されます。このパルス幅を PIC マイコン「16F1828」がタイマー1(16ビット長、1us クロック)を使用して測定します(図参照)。



最終的に得られた時間(超音波の往復時間)から、音速を元に計算することで測定物までの距離を算出します(式参照)。

$$\text{距離} = \text{時間(秒)} \times (331.5(\text{m}) + 0.6 \times \text{温度}(\text{°C})) / 2$$

式から 1°C温度が異なると秒速 0.6m も速度が変わることがわかります。4m を測定した場合、0°Cだと約 24.1 ミリ秒、40°Cだと 22.5 ミリ秒のパルスが観測され 7%程度の誤差が生じます。そこで、MK-320 では温度センサー「LM35」により温度を測定し、上記の式で補正しています。「LM35」は温度をその 1/100 の電圧で出力します。たとえば 25°Cであれば 0.25V を出力します。そこでマイコンの内部リファレンス電圧を 1.024V に設定し、10ビット(1024)の AD コンバータで計測しています。したがって 25°C のとき 25 の値が得られます。得られた距離データを 3 個の 7セグメント表示機で表示します。1m以上では cm 単位、1m 未満では 1mm 単位で表示します。リレーを駆動する距離は半固定ボリュームで電圧として設定し、マイコンで常に測定距離と比較し、一致または設定よりも距離が短くなったときにリレーを駆動します。**注意:測定できる距離には限界があり、距離に比例して出力されるパルス幅は 38ms 以上(約 6.8m 以上に相当)はエラーであることを示すため「Err」と表示します。**

プログラムの説明:

超音波センサーから出力される数十ミリ秒のパルス幅を測定し、距離に変換し3桁の7セグメントLEDにインターラプトタイマーにより約5ミリ秒で周期的に表示します。リレー駆動距離設定表示用スイッチが押されている場合は、設定距離を同じく3桁で表示します(単位はcm)。メイン関数では常にこの設定距離と測定距離を比較し、設定距離未満になればリレーとLEDを駆動します。読み取りエラーやノイズの影響を避けるために4回の移動平均を計算し、それを測定データとしています。このために距離を測定するために約1秒の遅延があります。一般にセンサースイッチでは、ヒステリシスを実装します。つまりオンになるしきい値とオフになるしきい値をずらせて、その付近でのバタツキをなくします。MK-320では、しきい値の設定ではなく、オン・オフ・オンの変化、またはオフ・オン・オフの変化に対して約1秒の非検出時間を設け、その間の変化を無視することで、バタツキを減少させています。プログラムを公開しているので、確認し、必要であれば自由に変更してください。

使用方法:

- 超音波センサー接続:**超音波センサー「HC-SR04」を 4 ピンのソケット(J4)に極性に注意して挿入します(音波が入出力される側をボード外に向ける)。
- 電源接続:**DC12VをDCジャックコネクタ(J1、軸がプラス)またはネジ式端子(J2、極性は基板に印字)接続します。どちらかひとつに接続します。電氣的に並列に接続されています。**極性に**

注意してください。回路そのものは8V以上で、またリレーは9Vくらいから動作します。したがってリレーが不要であればハンダ付けせず9V乾電池で駆動可能です。

●**リレー接続:**リレーの接点出力であるネジ式端子(J3)に制御したい装置を接続します。COM端子とNC端子(いずれも基板上に印字)がリレーが駆動されていないときに接続されています。リレーが駆動されるとCOM端子とNC端子は切断(開放)され、COM端子とNO端子が接続されます。

●**電源オン:**電源スイッチ(スライドスイッチ)をオン(基板上に「ON」と記載あり)にします。

●**距離設定:**設定距離表示用スイッチS2を押しながら距離を設定するボリュームを設定します。設定/表示単位はcmです。左イッパイに回すと2cm、右イッパイに回すと500cmです。たとえば真ん中に設定した場合、検出対象が250cmに近づくとLEDが点灯し、同時にリレーが駆動されカチツと音がし、COM端子とNO端子が接続されます。1秒以上経過したあとに(デジタル的ヒステリシス機構)、250cmよりも離れると、リレーがオフとなり、COM端子とNO端子が開放され、逆にCOM端子とNC端子が再度接続されます。**注意:超音波センサーは音波を利用しており、空気中では約30度の角度で広がり、広い範囲に伝わります。その方向や強度は風や温度に大きく影響されます。したがって対象物に突起(デコボコ)などがあると測定距離は安定しません。(詳しくはデータシートをご参照ください)**

組み立て:

組み立てる前に、部品リストの部品が入っているか確認してください。製作時は、製品ページの製作例を参照してください。各**部品の取り付け方法、PCBのシルク印刷の見方、抵抗値の読み方**などは、WEB上の「**電子工作便利ノート**」を参照してください。プリント基板の部品番号と部品表の部品番号を見ながら、基本的に背の低い部品からハンダ付けしてください。次に、背の高い部品をハンダ付けします。ICは直接ハンダ付けせず、ICソケットをボードにハンダ付けし、それに挿入してください。ICとそのソケットに1番ピン側を示すヘコミがあり、PCB上にわかりやすくシルク印刷されています。IC、電解コンデンサー、ダイオード、LED、トランジスタには極性、向きがありますので注意して取り付けてください。LEDはカソード側に直線が描かれています。LEDの線が短いほうがカソードです。

集合抵抗R9、R10(8ピン。4個の200Ωまたは220Ω抵抗入り)には極性がないので取り付ける向きは自由です。3端子レギュレータ7805はケース下部から約6mmの位置で90度に曲げて実装します(写真参照)。



最後にネジ式端子(ターミナルブロック)、DCジャックコネクタ、リレー、7セグメント表示器をハンダ付けしてください。超音波センサー「HC-SR04」はハンダ付けせず付属の4ピン1列ソケットに挿入します(直接基板にハンダ付けしても使えます)。4芯の短いケーブルで接続して使用できます(ケーブルはキットに付属しません)。



トラブルシューティング(動かない場合):

回路が動作しない場合は、90%近くの可能性でハンダ付け不良が原因です。明るい照明の下で、ハンダ付け部分を確認してください。次にすべての部品が正しい位置に実装されているか確認してください。

問合せ先

関連する詳細資料は以下のマイコンキットドットコムのWEBサイトから入手してください。

<http://www.mycomkits.com>

不明な点は下記のEmailアドレスにお問い合わせください。
support@mycomkits.com

部品表 - MK-320

抵抗

10k(茶、黒、ダイダイ) R2.....	1
2.2k(赤、赤、赤) R3.....	1
39k(ダイダイ、白、ダイダイ) R4.....	1
1k(茶、黒、赤) R5.....	1
4.7k(黄、紫、赤) R6, 7, 8.....	3
200(または220。4連8ピン集合抵抗) R9, 10.....	2

コンデンサー

0.1uF コンデンサー C1, 2.....	2
100uF 電解コンデンサー C3.....	1

半導体

16F1828 PIC マイコン(プログラム済み) U1.....	1
7805 3端子レギュレータ U2.....	1
HC-SR04 超音波センサー U3.....	1
LM-35 温度センサー U4.....	1
BC548 トランジスタ(または相当品) Q1, 2, 3, 4.....	4
1N4007 ダイオード(または相当品) D1, 2, 4.....	3
LED 発光ダイオード D3.....	1
7セグメント表示素子 DISP1, 2, 3.....	3

その他

リレー(SONGLE SRSZ12D または相当品) RLY1.....	1
半固定ボリューム 10kΩ R1.....	1
セラロック発振子(4MHz) X1.....	1
DCジャックコネクタ(軸径2.1mm、外径5.5mm) J1.....	1
ターミナルブロック(2極ネジ式端子) J2.....	1
ターミナルブロック(3極ネジ式端子) J3.....	1
ピンソケット4ピン(1列) J4.....	1
ICソケット(20ピン。PICマイコン用).....	1
スライドスイッチ S1.....	1
タクトスイッチ(押しボタンスイッチ) S2.....	1
MK-320 プリント基板(K294)(サイズ約81×63mm)....	1

下記の製品ページで最新の製品マニュアル、センサーのデータシートなどもご覧いただけます。

<http://www.mycomkits.com/SHOP/MK-320.html>

